

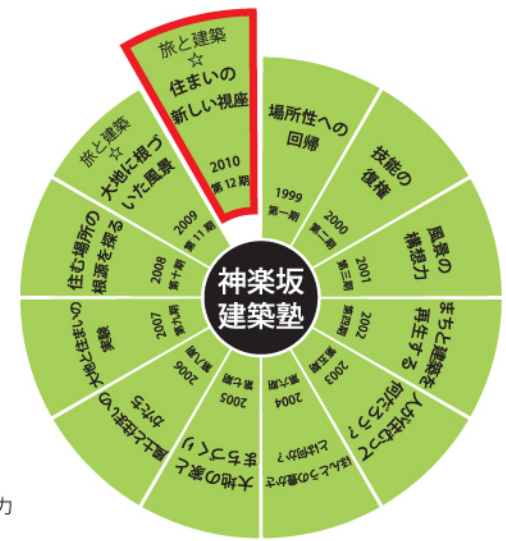
2010年度カリキュラム ※講師交渉中も含む

- 主な講師(敬称略)
- 平良敬一 (本塾顧問・建築思潮研究所代表)
  - 鈴木喜一 (本塾塾長・武蔵野美術大学講師)
  - 保坂陽一郎 (建築家・武蔵野美術大学名誉教授)
  - 大橋富夫 (写真家)
  - 青山恭之 (建築家)
  - 泉 幸甫 (建築家)
  - 岡本哲志 (都市形成史家)
  - 岸 成行 (建築家)
  - 煙駒五郎 (林業家)
  - 齊藤祐子 (建築家)
  - 酒井道夫 (建築評論家・武蔵野美術大学教授)
  - 佐奈芳勇 (建築家)
  - 田中敏博 (建築家)
  - 趙 海光 (建築家)
  - 畑 聰一 (建築家・芝浦工業大学名誉教授)
  - 長谷川堯 (建築評論家・武蔵野美術大学名誉教授)
  - 布野修司 (建築評論家・滋賀県立大学教授)
  - 渡邊義孝 (建築家)

- 主な坐学※予定
- ・住まいの新しい視座
  - ・建築のヴァナキュラリズム
  - ・民家再生 住み継ぐ意思力
  - ・粋な下町暮らし

- 主なフィールドワーク※予定
- ・忘れられた都心巡礼
  - ・水上からみた東京
  - ・静岡 安倍川沿いの森と集落

- 番外講座※予定
- ・伊勢神島、神津島、関西の古都、倉敷／希望者

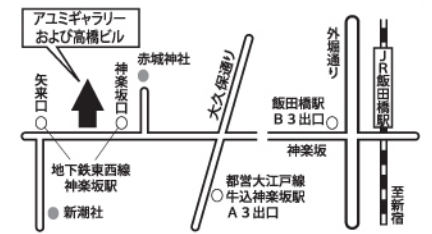


▲建築塾第12期までの通年テーマ

- 海外ツアー※予定
- ・イエメン、モロッコ、中国東北方、ラトビア／希望者

申込方法および案内図

- 入塾まで：申込→書類選考→入塾許可→学費入金→入塾
- 申込方法：申込用紙に、必要データおよび入塾志望動機(600字以内)を書き込み、80円切手を添付した封書(長形3号)を同封の上、神楽坂建築塾事務局宛に郵送してください。申込用紙一式はWEBからダウンロードできます。
- 申込締切：2010年4月20日(火) 消印有効
- 書類選考：塾長・顧問・事務局による書類選考を実施します。選考結果は4月30日(金)までに全員に郵送します。



(東西線神楽坂駅直上徒歩1分、有楽町線神楽坂駅徒歩7分)

Q & A

- Q……入塾される方は、どんな方がいるのでしょうか。
- A……建築家志望者・建築愛好家・工務店経営者及び勤務者・林業家・各職技能者・行政関係者・まちづくり運動家・文化活動者から、建築関係でない会社員や主婦まで幅広くの人々が建築塾で学んでいます。建築が好き、まち歩きが好き、スケッチが好き、など、参加される理由も様々です。
- Q……これまでの受講生の平均的な年齢はどのくらいでしょうか？
- A……下は18歳から上は60歳代まで幅広い年齢が塾生となっています。平均年齢は30歳前後です。
- Q……地方から参加したいのですが。
- A……地方から参加する塾生のために古い木造の寮(素泊1,500円/チルチンびと8号「古い家を住みこなす」参照)があります。
- Q……まち歩きはどんなことをするのですか？
- A……講師の話や地元の人から話を聞いたり、まち歩きをしながら自分の気に入った風景・建物・ディテールをスケッチしたり実測したりします。また実際に講師が設計した家を訪ねることもあります。



第12期通年テーマ

旅と建築☆住まいの新しい視座

2010年5月開講

神楽坂建築塾第12期生募集

photo by Tomio Ohashi

旅する	歩く	見る	触れる	描く	語る	つくる	学ぶ
国内外番外ツアーを随時開催します	フィールドワークはまち歩きが基本です	建築やまちづくりの現場を見に行きます	フィールドワークで本物に触ります	フィールドワークでスケッチをします	土曜夜は懇親会で語り合います	年度末には修了制作を発表します	毎月坐学で講師からじっくりと学びます

戦後の高度成長期以降、日本が進んできた大量生産・大量消費の社会システムとそのもとの生活スタイルは、いまや地球環境問題、資源の枯渇、各種汚染による健康への被害など、さまざまな局面で大幅な軌道修正を余儀なくされています。

経済的な側面でも、また人間の生きる場と空間という意味でも、建築は常に時代の姿の反映でありました。今までの、古いものを一掃し、最新技術を謳歌し、表面的なきれいさや豪華さを求める家づくり・まちづくりのあり方は、これからはもうたちゆかないという危機感を、いまや多くの人びとが共有し始めたといえるでしょう。

建築と生活の新しい座標軸をどこから見出すか。そのカギは「古い集落とまちにある」と私たちは考えます。時間の蓄積を体感できる場を惹きつけ、人間の特技を大切に、お金だけでは計れない住まいの価値を自らの目と手でつかむこと。「ほんとうの豊かさ」を、建築という共通の土俵の上から、多角的に、そして実践的に学んでいきます。さらに古民家や近代建築、伝統的建造物群保存地区の見学等を通して、流行に左右されない確かな生活の実感をつかみたいと思います。今期は「旅と建築☆住まいの新しい視座」という通年テーマを設定しました。第11期までのテーマをベースに、より重層的に学んでいきたいと思っています。(塾長・鈴木喜一)

第12期募集要項

- 期間：2010年5月～2011年3月 (正規カリキュラム20講座)
- 日程：原則として毎月第二土曜日の夜(坐学)および翌日の日曜日(フィールドワーク)
- 内容：坐学は各月の講師による講義  
フィールドワークは首都圏を中心とするまち歩き  
フィールドワークではスケッチ及び実測等を行う
- 費用：入塾金10,000円+受講料68,000円 (受講料にはテキスト【※】および正規カリキュラムで配付されるすべての資料代を含む)
- 場所：アウミギャラリー高橋ビルB2および野外
- 宿泊施設：地方から参加する塾生のために古い木造の寮(素泊1,500円)が神楽坂にあります。
- 対象：18歳以上

【※】テキストは鈴木喜一著「まちと建築を再生する」(武蔵野美術大学出版局)を使用します。

アウミギャラリー 神楽坂建築塾  
www.ayumi-g.com

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114 アウミギャラリー内  
TEL+FAX:03-3269-1202 E-mail:ag@ayumi-g.com